

(別紙)

## 令和6年度福島県協同農業普及事業外部評価改善報告書

令和7年3月28日 福島県農業振興課

普及指導課題名		視点3 地域づくり		
評価項目	評価	評価できる事項	改善すべき事項	左記への対応
1 普及指導活動の目標と課題設定	A	重要な課題に対して、地域の実情を的確に捉え、適切な目標と課題設定がされている。	改善すべき事項はない。	今後も、関係機関・団体との連携のもと、地域の話し合いに積極的に入る等、より現場に踏み込んで地域の実情の把握に努めるとともに、現時点の課題を解決しつつ、次の一步を踏み出せるよう、先を見据えた目標設定をして参ります。
2 普及活動の方法	A	適切である。地域作りを進めるにはハードルが高い地域を対象としているにもかかわらず、担い手や関係機関等との調整を丁寧に行い、意見をまとめて着実に進めている点は特に高く評価できる。	改善すべき事項は特には無い。さらに効果的な方法を検討・導入しながら今後も継続するよう期待する。	引き続き、普及指導員が有する専門知識やノウハウ、先進事例等の情報やコーディネート力を十二分に発揮し、地域での実証を通じた新たな技術についての理解促進や、関係機関・団体と連携した地域での話し合いにより合意形成を図るなど、現場の実情やニーズに即しながら、ワークショップの実施など地域の農業者自らの熟慮と意志決定につながる教育的な手法を採り入れつつ、効果的な普及活動を進めてまいります。
3 普及指導活動の成果	A	概ね評価できる。担い手育成、組織作り、販路確保は高く評価できる成果である。	改善すべき事項は特には無い。さらなる成果が得られるように、これまでの実績を十分に分析して、今後に役立ててほしい。	これまで積み重ねてきた地域づくりに関する普及指導活動について、単に実績のみを見るのではなく、どのような手順で進めたか、地域のどのような方に働きかけたか等、その成功（あるいは失敗）の要因をしっかりと分析し、今後の普及指導活動に活かしてまいります。
4 総合的な評価（見直しが必要な場合は、その内容を記載）		地域づくりについて取り上げた2つの事例は、地域の実情は大きく異なるものの、それぞれの地域にあった効果的な普及指導活動が行われていると高く評価する。成果が得られるまでに地域の関係性を構築してきた努力に対して敬意を表する。 今後も担い手のさらなる所得向上や他地域への展開等も目指し、福島の農業がますます魅力あるものとなるように活動を継続してほしい。		関係機関・団体と密に連携を図りながら、地域の農業がより良いものとなるよう、課題解決に向けて、引き続き、地域に実情に合わせた提案を行いながら、普及指導活動を実施してまいります。 福島の農業が魅力あるものとなるよう、まずは重点支援の対象に対して、地域計画の実現に向けて支援するとともに、地域産業6次化の推進やスマート農業の活用による農作業の集約化・効率化などにより、担い手のさらなる所得向上に取り組みながら、蓄積した取組事例を参考に普及指導活動を展開し、他地域への波及を図ってまいります。

※評価の目安 A：妥当である B：一部見直しが必要 C：見直しが必要